

## Ⅲ 調査結果の分析



# 1 定住性

---

1-1 居住年数

1-2 定住意向

1-3 定住意向理由と転出意向理由

---

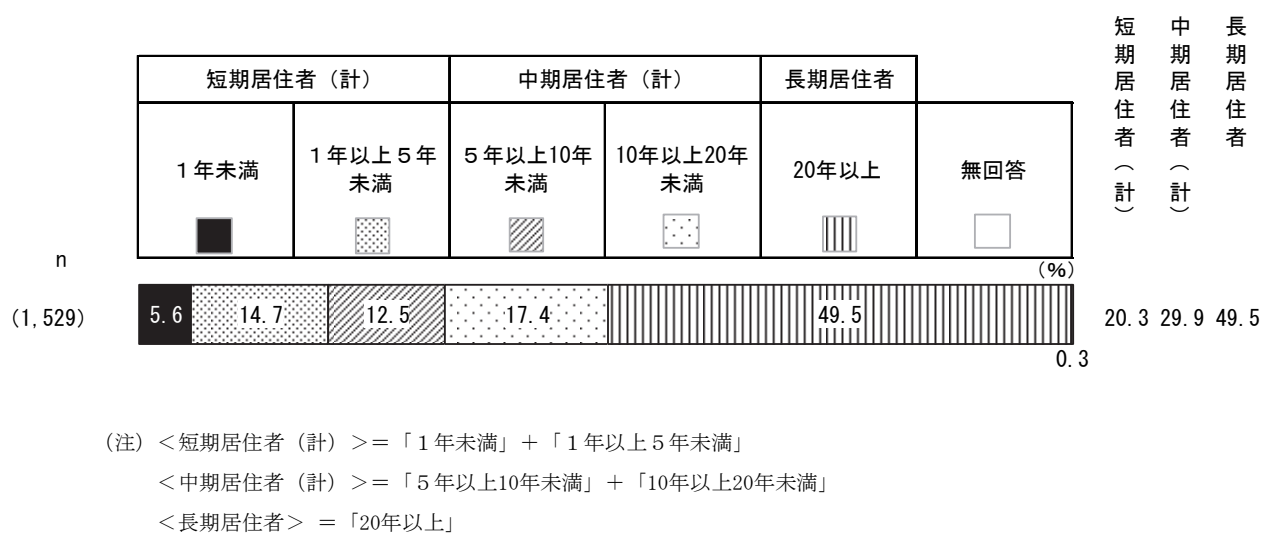


## 1-1 居住年数

- 「20年以上」の<長期居住者>が約5割

問1 あなたは、墨田区に住んで何年になりますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-1-1



墨田区に住んで何年になるか聞いたところ、「1年未満」(5.6%)と「1年以上5年未満」(14.7%)を合わせた<短期居住者（計）> (20.3%)が約2割、「5年以上10年未満」(12.5%)と「10年以上20年未満」(17.4%)を合わせた<中期居住者（計）> (29.9%)が約3割、「20年以上」の<長期居住者> (49.5%)が約5割となっている。(図1-1-1)

昭和59年からの推移をみると、<長期居住者>は平成14年以降、緩やかな減少傾向にある。

(図1-1-2)

ブロック別でみると、<長期居住者>はAブロックで約6割と高く、G・Hブロックで3割台と低くなっている。一方、<短期居住者（計）>はHブロックで3割を超えて高くなっている。

(図1-1-3)

図 1-1-2 居住年数構成の推移

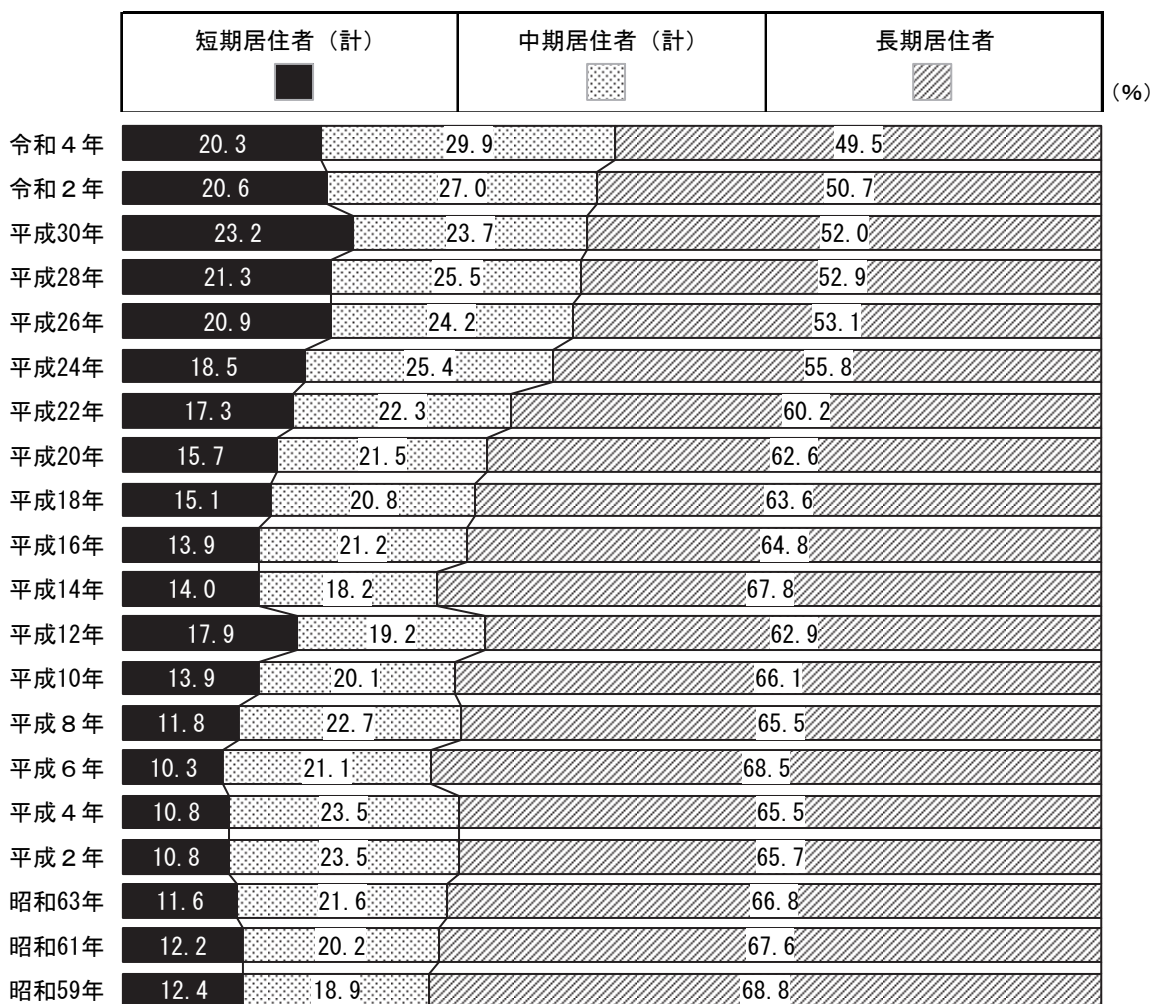
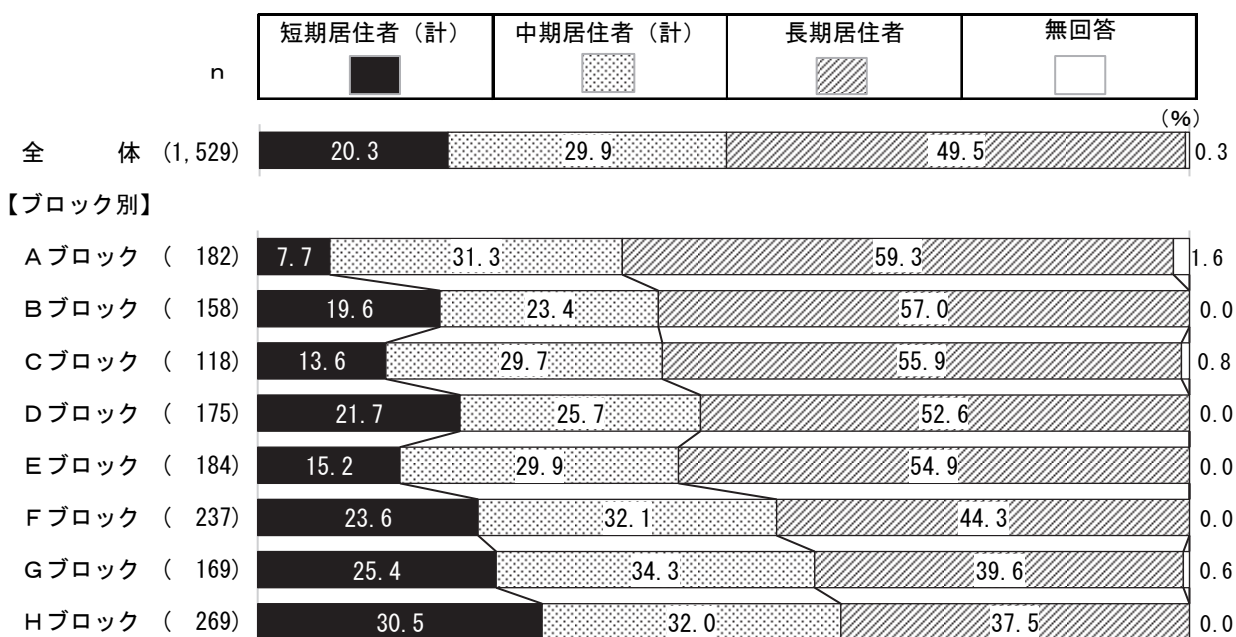


図 1-1-3 ブロック別 居住年数構成

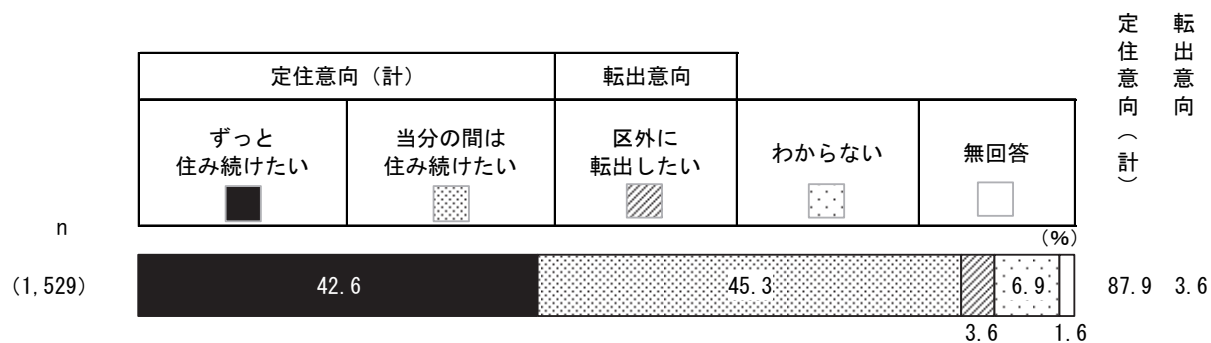


## 1-2 定住意向

- <定住意向（計）>が9割近く

問2 あなたは、これからも墨田区に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図1-2-1



(注) <定住意向（計）> = 「ずっと住み続けたい」 + 「当分の間は住み続けたい」

<転出意向> = 「区外に転出したい」

これからも墨田区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(42.6%)が4割を超え、これに「当分の間は住み続けたい」(45.3%)を合わせた<定住意向（計）>(87.9%)は9割近くとなっている。これに対して「区外に転出したい」(3.6%)という<転出意向>は1割未満となっている。(図1-2-1)

昭和59年からの推移をみると、<定住意向（計）>は平成10年をピークに平成20年まで減少傾向にあったが、平成22年で増加に転じ、8割台で推移している。(図1-2-2)

ブロック別でみると、<定住意向（計）>はG・Hブロックで9割台と高くなっている。

(図1-2-3)

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、<定住意向（計）>は女性40歳代で9割を超えて高くなっている。

(図1-2-4)

東京都・区部と比較すると、<定住意向（計）（住みたい）>は墨田区(87.9%)で9割近くとなっており、東京都(70.8%)より17.1ポイント、区部(72.4%)より15.5ポイント上回っている。

(図1-2-5)

図1-2-2 定住意向の推移

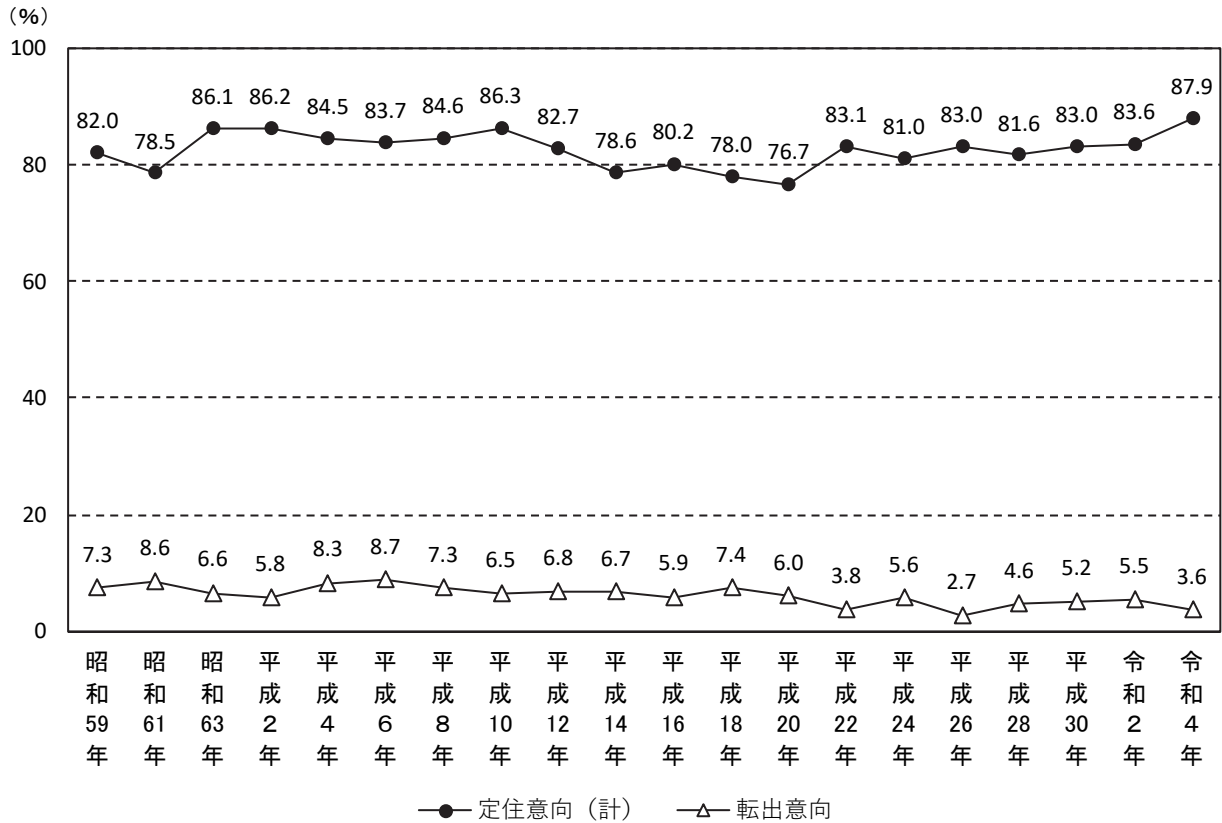


図1-2-3 ブロック別 定住意向

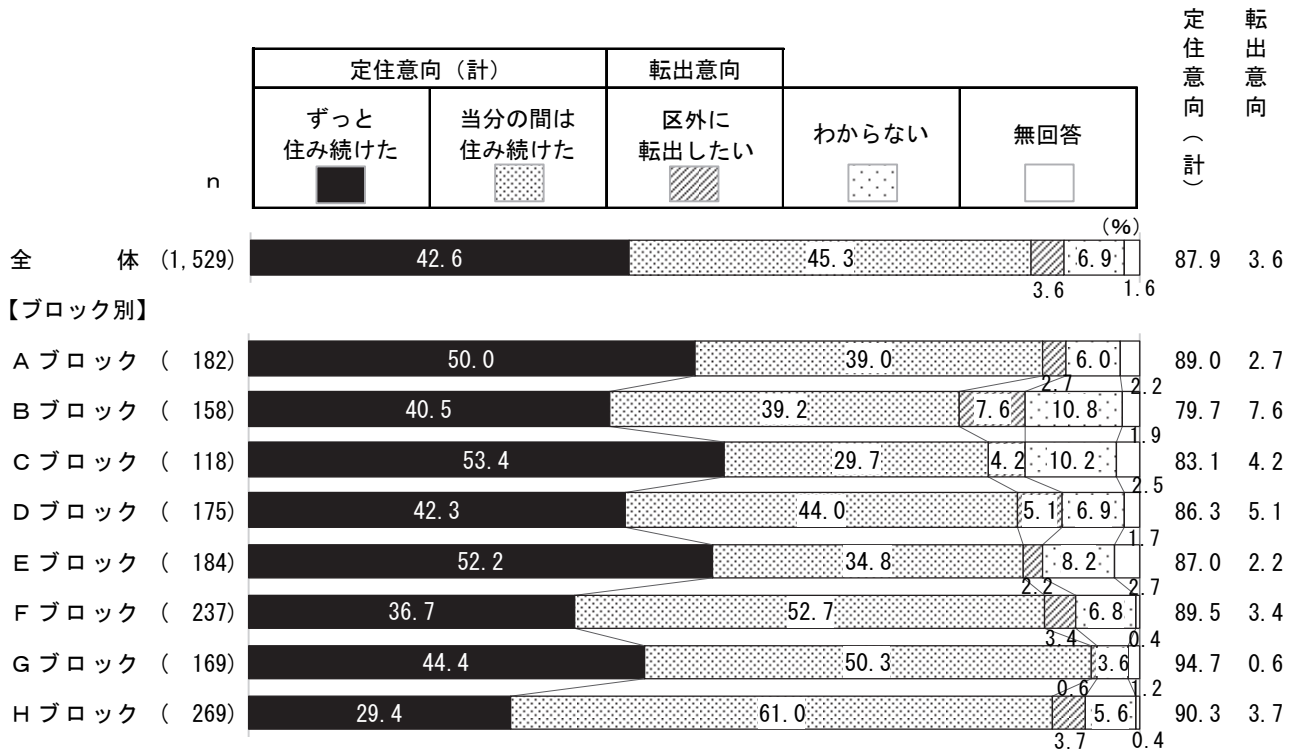




図 1-2-4 性別、性・年代別 定住意向

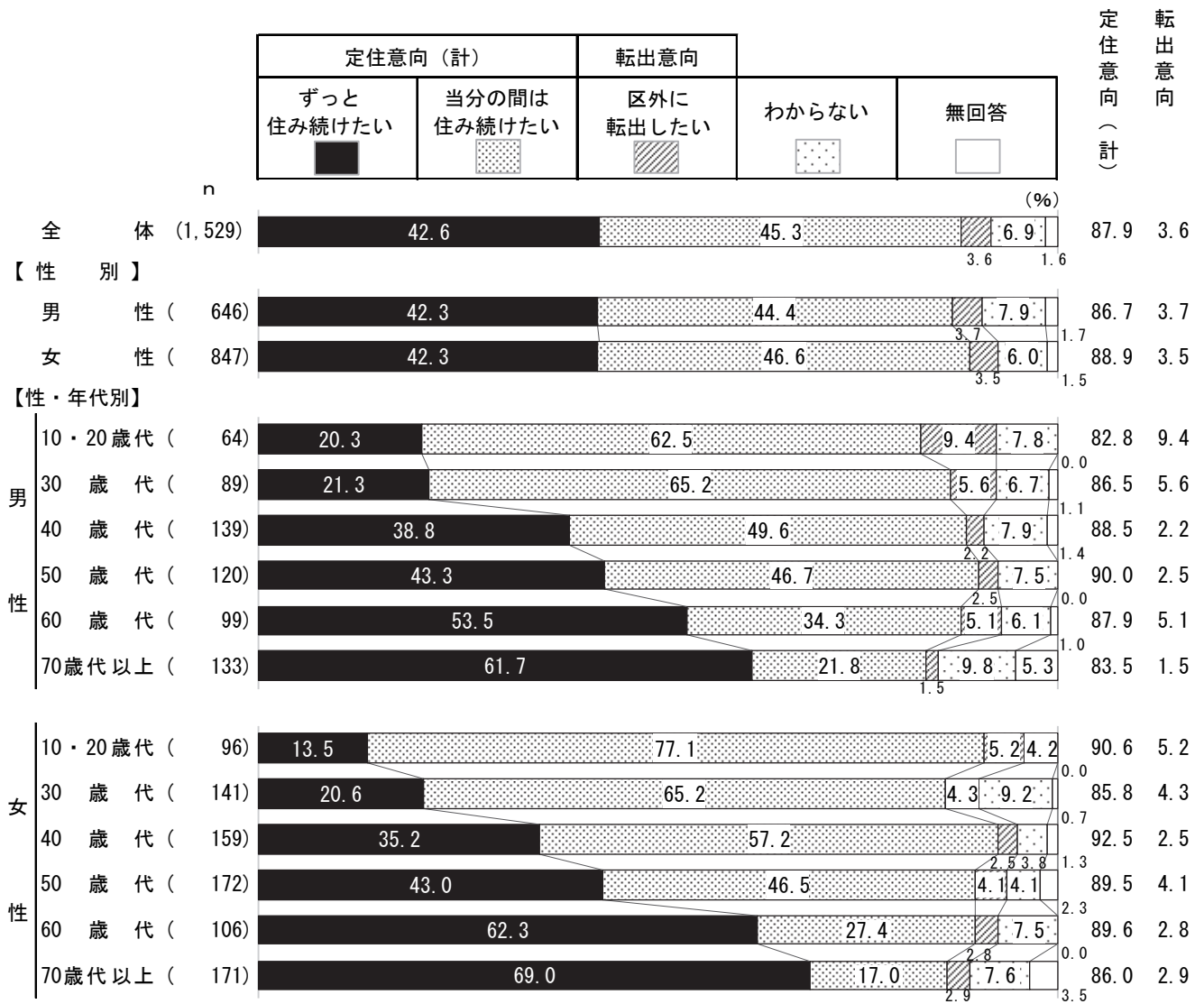
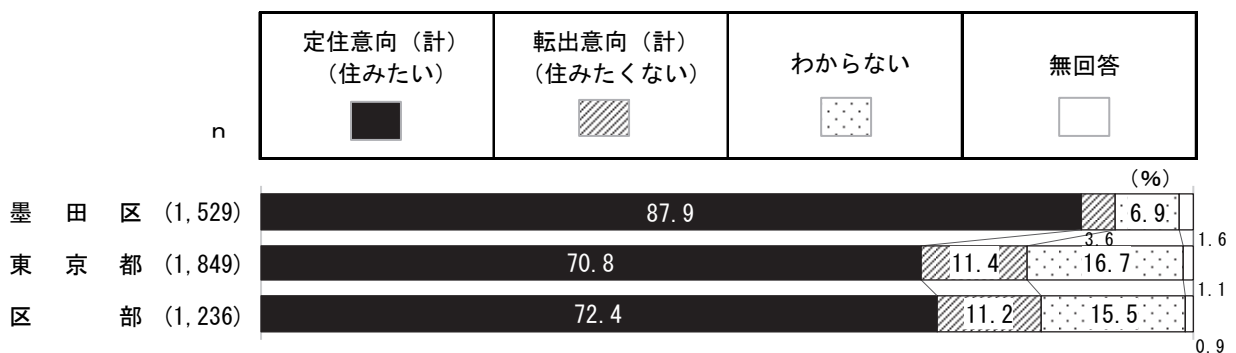


図 1-2-5 東京都・区部との比較 定住意向



(注 1) 東京都と区部は地域定住意向の調査結果

(注 2) 表頭の ( ) 内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(令和 3 年)

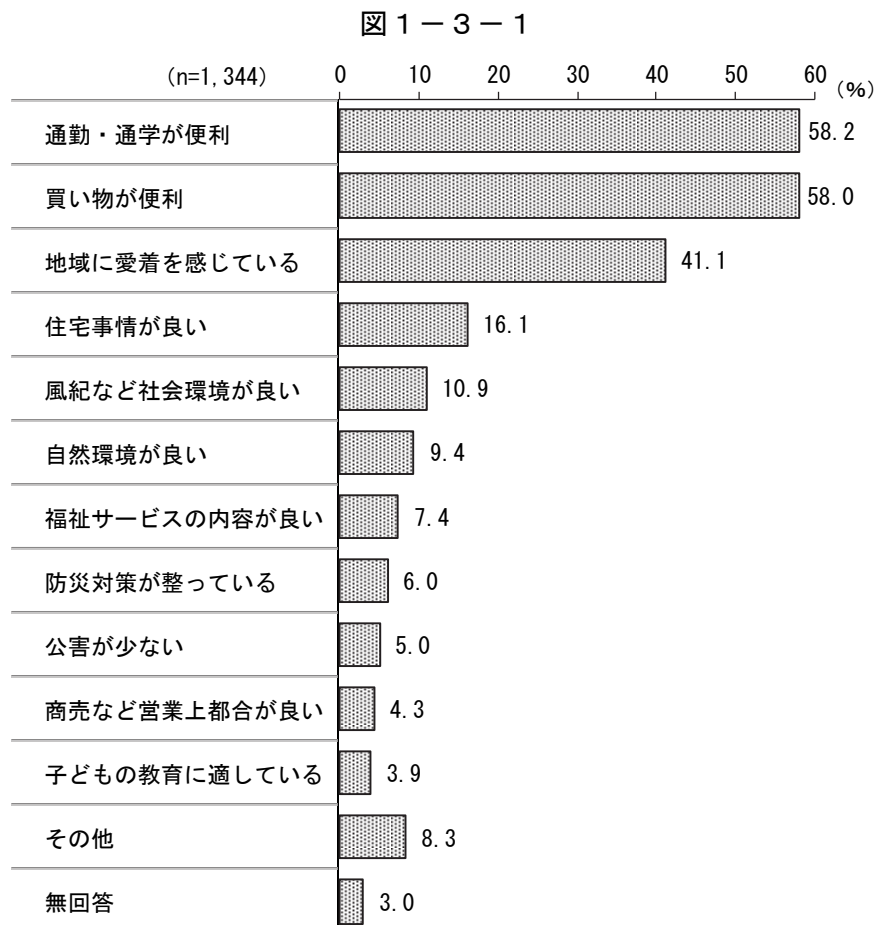
## 1-3 定住意向理由と転出意向理由

### (1) 定住意向理由

- 「通勤・通学が便利」「買い物が便利」が6割近く

〔問2で「ずっと住みたい」・「当分の間は住みたい」と答えた方に〕

問2-1 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください



墨田区に「ずっと住みたい」、「当分の間は住みたい」という人(1,344人)にその理由を聞いたところ、「通勤・通学が便利」(58.2%)が6割近くで最も高く、次いで「買い物が便利」(58.0%)、「地域に愛着を感じている」(41.1%)、「住宅事情が良い」(16.1%)となっている。

(図1-3-1)

定住意向の理由上位3項目を属性別でみると、地域別では、北部は「買い物が便利」、「通勤・通学が便利」、「地域に愛着を感じている」の間に大きな差はないが、南部は「通勤・通学が便利」、「買い物が便利」が6割台と高くなっている。

ブロック別でみると、「買い物が便利」はB・C・E・Gブロックで第1位、「通勤・通学が便利」はA・D・F・Hブロックで第1位となっている。

性別でみると、男性は「通勤・通学が便利」、女性は「買い物が便利」が最も高くなっている。

性・年代別でみると、男女ともに50歳代以下の年代で「通勤・通学が便利」が最も高くなっている。男性60歳代で「地域に愛着を感じている」が最も高く、男性70歳代以上で「買い物が便利」と「地域に愛着を感じている」が同率で最も高くなっている。

女性の60歳代と70歳代以上で「買い物が便利」が最も高くなっている。(表1-3-1)

表1-3-1 地域別、ブロック別、性別、性・年代別 定住意向理由

(%)

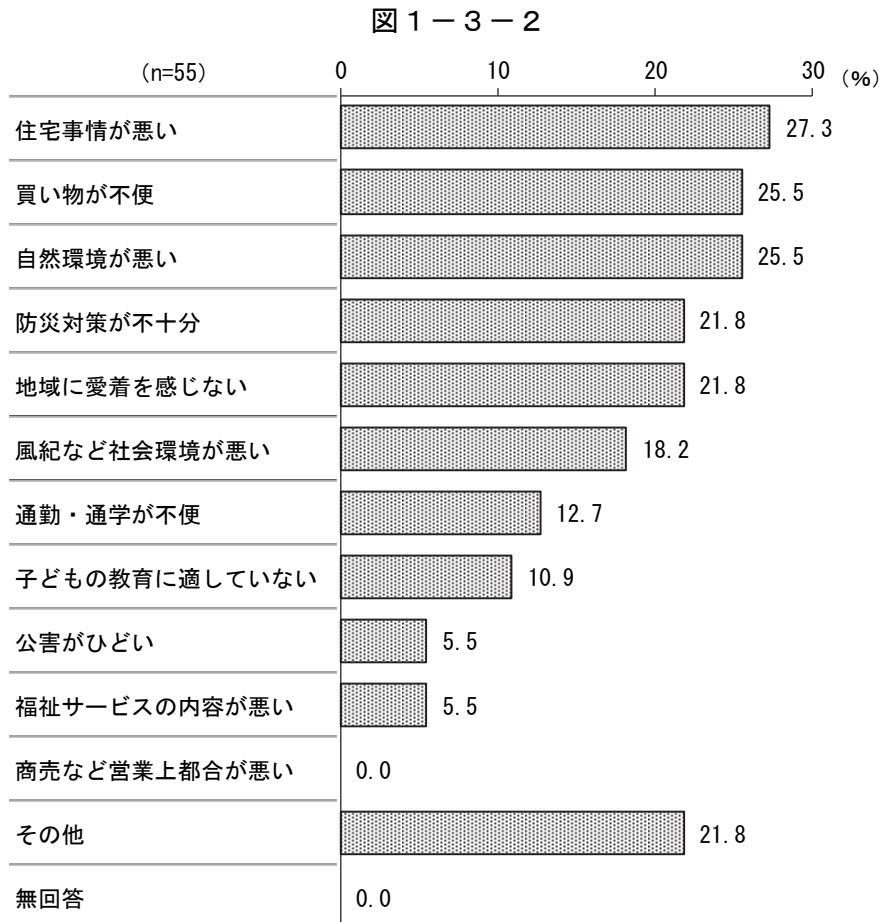
分析項目		n	第1位		第2位		第3位		
全 体		(1,344)	通勤・通学が便利	58.2	買い物が便利	58.0	地域に愛着を感じている	41.1	
地域別	北部地域	( 697)	買い物が便利	53.7	通勤・通学が便利	50.9	地域に愛着を感じている	46.9	
	南部地域	( 615)	通勤・通学が便利	67.6	買い物が便利	62.8	地域に愛着を感じている	34.1	
ブロック別	Aブロック	( 162)	通勤・通学が便利	50.6	買い物が便利	46.9	地域に愛着を感じている	45.1	
	Bブロック	( 126)	買い物が便利	55.6	地域に愛着を感じている	52.4	通勤・通学が便利	50.8	
	Cブロック	( 98)	買い物が便利	56.1	地域に愛着を感じている	50.0	通勤・通学が便利	45.9	
	Dブロック	( 151)	通勤・通学が便利	51.7	買い物が便利	49.7	地域に愛着を感じている	45.7	
	Eブロック	( 160)	買い物が便利	61.3	通勤・通学が便利	53.8	地域に愛着を感じている	43.8	
	Fブロック	( 212)	通勤・通学が便利	60.4	買い物が便利	51.9	地域に愛着を感じている	36.8	
	Gブロック	( 160)	買い物が便利	81.3	通勤・通学が便利	67.5	地域に愛着を感じている	33.1	
	Hブロック	( 243)	通勤・通学が便利	74.1	買い物が便利	60.1	地域に愛着を感じている	32.5	
性別	男 性	( 560)	通勤・通学が便利	59.5	買い物が便利	55.2	地域に愛着を感じている	43.6	
	女 性	( 753)	買い物が便利	60.0	通勤・通学が便利	58.2	地域に愛着を感じている	39.3	
性・年代別	男性	10・20歳代	( 53)	通勤・通学が便利	73.6	買い物が便利	64.2	風紀など社会環境が良い	28.3
		30歳代	( 77)	通勤・通学が便利	79.2	買い物が便利	57.1	住宅事情が良い／ 地域に愛着を感じている	19.5
		40歳代	( 123)	通勤・通学が便利	76.4	買い物が便利	60.2	地域に愛着を感じている	42.3
		50歳代	( 108)	通勤・通学が便利	68.5	地域に愛着を感じている	52.8	買い物が便利	51.9
		60歳代	( 87)	地域に愛着を感じている	50.6	買い物が便利	43.7	通勤・通学が便利	42.5
		70歳代以上	( 111)	買い物が便利／地域に愛着を感じている		56.8	通勤・通学が便利	24.3	
		10・20歳代	( 87)	通勤・通学が便利	75.9	買い物が便利	70.1	地域に愛着を感じている	23.0
	女性	30歳代	( 121)	通勤・通学が便利	66.1	買い物が便利	61.2	地域に愛着を感じている	24.8
		40歳代	( 147)	通勤・通学が便利	70.7	買い物が便利	57.8	地域に愛着を感じている	34.7
		50歳代	( 154)	通勤・通学が便利	74.7	買い物が便利	56.5	地域に愛着を感じている	41.6
		60歳代	( 95)	買い物が便利	57.9	地域に愛着を感じている	49.5	通勤・通学が便利	42.1
		70歳代以上	( 147)	買い物が便利	61.2	地域に愛着を感じている	55.8	通勤・通学が便利	22.4

## (2) 転出意向理由

- 「住宅事情が悪い」が3割近く

〔問2で「区外に転出したい」と答えた方に〕

問2-2 その主な理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。



「区外に転出したい」という人(55人)にその理由を聞いたところ、「住宅事情が悪い」(27.3%)が3割近くで最も高く、次いで「買い物が不便」(25.5%)、「自然環境が悪い」(25.5%)、「防災対策が不十分」(21.8%)、「地域に愛着を感じない」(21.8%)となっている。(図1-3-2)